

主題：神の建造する働き

メッセージ 12

神の宮としての召会を建造する神の唯一の働きのための 最も卓越した道と卓越する賜物

聖書：I コリント 3:6-17. 8:1, 3. 12:31 後半— 13:13. 14:4 後半, 12, 26, 31

- I. 宇宙における神の唯一の働きは、キリストにあるご自身を彼の選ばれた民の中へと建造し込むことによって、神の宮としての召会を建造することです——エペソ 3:16-21：
- A. わたしたちの働きの目標は、キリストを人の中へと供給して、三一の神がご自身を彼らの内なる存在の中へと建造し込むことです——I テモテ 4:6-7. 5:1-2. I コリント 3:6-17。
 - B. わたしたちの建造する働きにとって極めて重要なのは、それが「どんなものであるか」です——12-13 節。
- II. 愛は、神の宮としての召会を建造する最も卓越した道です——12:31 後半— 13:13：
- A. 聖書の最大の啓示は、神が愛であるということです——マタイ 26:13. I ヨハネ 3:1-2：
 - 1. キリストは、来てわたしたちを罪から贖う人の子として、わたしたちの法理的な贖いのためにわたしたちをはぐくむ愛としての神です——I テモテ 1:15。
 - 2. キリストは、来て神聖な命を豊かにわたしたちの中へと分け与える神の御子として、わたしたちの有機的な救いのためにわたしたちを養う愛としての神です——ヨハネ 10:10 後半. ローマ 5:10。
 - B. 神の愛は神ご自身です。愛は神の内なる本質また神の心です——I ヨハネ 4:8, 16. I コリント 3:12 前半。
 - C. 「わたしは人の綱、愛のきずなで彼らを引いた」——ホセア 11:4：
 - 1. 「人の綱、愛のきずなで」という句が示すのは、神がわたしたちを彼の神聖な愛をもって、神性の水準で愛するのではなく、人性の水準で愛するということです。神の愛は神聖ですが、人の綱において、すなわち、キリストの人性を通してわたしたちに届きます。
 - 2. 神がわたしたちを引く綱は、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を含みます。人性におけるキリストのこのすべての段階によって、神の救いにおける愛はわたしたちに届きます——ローマ 5:8。
 - 3. キリストから離れて、神の永続する、変わることはない、服従する愛は、わたしたちとの関係において優勢になることはできませんでした。神の変わることはない愛が優勢になるのは、それがキリストにある、キリストを伴う、キリストによる、キリストのための愛であるからです——5, 8 節. 8:35-39。
 - D. わたしたちは、キリストの愛に浸され、キリストの愛によって運び去られる人でなければなりません。神聖な愛は、わたしたちに対する大水の押し迫る潮流のようであり、わたしたちをかき立てて、自分自身の制御を超えて彼を愛させ、彼に生きさせるべきです——II コリント 5:14-15：

1. わたしたちが神を愛することは、わたしたちを神の祝福を受ける者とし、彼がわたしたちのために定め用意した神聖な祝福にあずからせ（神の深みとしてのキリスト）、それはわたしたちの理解を超えています—— I コリント 2:9-10。
 2. わたしたちが主を愛さないことは、わたしたちをのろわれた者、のろいに取りっておかれた者とします—— 16:22。
- E. わたしたちが神のエコノミーの健康な教えにとどまり、それを目ざすようにとの命令の目的、結果、成果は、「純粋な心と、正しい良心と、偽りのない信仰とから出て来る愛」です—— I テモテ 1:3-6. 参照、6:3-4。
- F. 神聖な愛にあずかる者となることは、神の本質の性質としての愛を享受する者となることであり、わたしたちは神との交わりの中で、愛としての神を享受することができます—— I ヨハネ 1:2-3 :
1. わたしたちは神聖な交わりの中にとどまって、本質における愛として神が何であるかを享受するなら、神の愛の中に浸されます（II コリント 13:14）。わたしたちは愛の人になるだけでなく、愛そのものとなります。
 2. この愛はわたしたちに浸透し、それをもって兄弟たちを愛する愛となるに至るべきです。主はそのような兄弟愛の召会を願っています——啓 3:7 前半。
- G. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」（I コリント 8:1）。人を思い上がらせる外側の、客観的な知識は、善悪知識の木、すなわち死の源から来ます。その霊のものでありその霊の中にある愛は（ローマ 15:30. コロサイ 1:8）、命の木、すなわち命の源から来ます——創 2:9。
- H. 「人が神を愛するなら、その人は神に知られているのです」—— I コリント 8:3 :
1. 神に知られるとは、彼の宝として彼によって持たれ、所有されることです。神に知られている者は、神の喜び、楽しみ、満足となります——参照、コロサイ 1:10。
 2. 神があなたを知らないと言うことは、神があなたの道を良しとしないことを意味します（マタイ 7:22-23）。主はバラムに告げました、「わたしが敵対して出て来たのは、あなたの道がわたしの前に悪であったからだ」（民 22:32）：
 - a. もしわたしたちが主のみこころを尋ね求め、しかも実は自分自身の願望を遂行したいと思うなら、バラムが自分自身を欺いたようにさえ、自分自身を欺いているのです—— 8 節。
 - b. わたしたちは、主のみこころを知ってそれを行なうこと以外のどのような願望も持つことなく、主のみこころを尋ね求めるべきです—— 31:16. ユダ 11 節。
- I. 「愛は辛抱強く、愛は親切で、ねたみません。愛は誇ることがなく、思い上がることもありません。それは無作法をしません。また自分の利益を求めません。それはいらだちません。また人の悪を数えたてません。それは不義のゆえに喜ぶことをせず、真理と共に喜びます。それはすべてを覆い、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることはありません」—— I コリント 13:4-8 前半。
- J. キリストのからだは、愛の中でそれ自身を建て上げます——エペソ 4:16. 1:4-5. 6:23-24. 参照、ガラテヤ 5:25-26 :
1. 神はまずわたしたちを愛し、その中でわたしたちに彼の愛を注入し、わたしたちの内側で愛を再生し、その愛をもってわたしたちが彼と兄弟たちを愛するように

しました—— I ヨハネ 4:18-21。

2. 兄弟愛に関する戒めは、古くて新しいのです。古いのは、信者たちがそれを彼らのクリスチャン生活の初めから持っていたからです。新しいのは、彼らのクリスチャンの歩みにおいて、それが新しい光をもって夜が明け、新しい照らしと新鮮な力をもって何度も輝くからです—— 2:7-8. 3:11, 23. ヨハネ 13:34。
3. 互いに愛し合うことは、わたしたちがキリストに属していることのしるしです—— 34-35 節。
4. 召会の中でかしらになりたがることは、わたしたちの初めの愛としての主をもってすべての兄弟を愛することに相対します—— III ヨハネ 9 節. 啓 2:4. コロサイ 1:18 後半。
5. 主イエスが彼の魂の命を捨てて、わたしたちが神聖な命を得るようにしたように、わたしたちはからだの生活の実行において、自分の魂の命を失い、自己を否んで兄弟たちを愛し、命を彼らに供給する必要があります—— I ヨハネ 3:16. ヨハネ 10:11, 17-18. 15:13. エペソ 4:29-5:2. II コリント 12:15. ローマ 12:9-13。
6. わたしたちはこの世とその享樂を愛さないことによって、自分の魂の命を失う必要があります。むしろ、兄弟愛の召会生活の中で神を受け入れ、愛としての神を表現することが、わたしたちの喜び、娯樂、楽しみ、幸いであるべきです—— I ヨハネ 2:15-17. マタイ 16:25-26. 詩 36:8-9. 43:4. 参照、II テモテ 3:4。
7. 召会生活における兄弟愛が実行上、表現されるのは、何の利己的な目的や外側の自己顕示もなく、窮乏の聖徒たちを顧みることににおいてです。財物を窮乏の聖徒たちに分け与えることで、主の命の恵みと彼の愛がキリストのからだの肢体たちの間を流れ、彼らの中へと注入されます—— I ヨハネ 3:17-18. マタイ 6:1-4. ローマ 12:13. II コリント 8:1-8。
8. パウロは愛の確証の言葉をもって、コリント人への第一の手紙を終わっています。これは天然の愛ではなく、キリストにある愛、神の愛であり、キリストの恵みとその霊の交わりを通してわたしたちの愛となります—— 16:24. II コリント 13:14。

III. 預言することは、神の宮としての召会を建造するための卓越する賜物です——マタイ 16:18. I コリント 14:1, 4 後半, 12 :

- A. わたしたちが主を極みまで愛し、愛としての神で満たされるとき、わたしたちが預言する（神を語り出す）ことによって、彼はわたしたちの内側からあふれ流れて他の人の中へと流れ込み、召会を建造します——ヨハネ 21:15, 17. I コリント 14:4 後半 :
1. わたしたちは主を愛すれば愛するほど、ますます資格づけられ、成就され、装備されて、彼にとってかぐわしく、甘く、新鮮で、価値のある奉仕をもって主のために語ります——ヨハネ 12:3. II コリント 2:15. エペソ 5:2. ローマ 7:6. I コリント 3:12 前半. 雅 4:16。
2. もしわたしたちが愛としての神で満たされていないなら、わたしたちの語りかけは「鳴り響く鐘や騒がしいシンバル」のようであり、命を与えるその霊を供給するのではなく、命のない音を出すでしょう—— I コリント 13:1. II コリント 3:6. ヨハネ 3:34. 6:63。
3. 主に対するわたしたちの愛は、主のために語ることでわたしたちの力と權威の

要因、要素、本質です。

- B. 預言することは、召会の建造、信者たちに対する励まし、聖徒たちの霊的な幸いのための慰めを、人に語ることで— I コリント 14:3. 参照、3:12。
- C. 神の願いは、彼のすべての聖徒たちが預言することです—民 11:29. I コリント 14:31 :
1. わたしたちが預言することができるようにされるのは、神の御言の中で、命の成長の中で、神との接触の中で学ぶことによってです— 31 節. II テモテ 3:16-17. ガラテヤ 5:25. マタイ 11:28-30。
 2. わたしたちが預言することができるようにされるのは、預言者によって成就されることによってです—エペソ 4:11-12。
 3. わたしたちが預言することができるようにされるのは、すべての集会で語ることを実行することによって、キリストについて人々に告げることによってです— I コリント 14:26. プリピ 2:16 前半. II テモテ 4:2 前半, 5。
- D. I コリント第 14 章を実行するために、召会の最高の集会、すなわち、「それぞれの人に……があります」の集会の必要があります— 26 節 :
1. 正常な召会の集会は、「互いに」の集会、「円卓」の集会であり、その中でわたしたちは語り合い (エペソ 5:19)、互いに教え戒め合い (コロサイ 3:16)、互いに顧みて勧め合い (ヘブル 10:24-25)、互いに聞き合います (I テサロニケ 5:20)。
 2. わたしたちは集会に来る前、主に対する経験を通して、あるいは彼の言葉を享受し、祈りの中で彼と交わることを通して、集会のために用意すべきです。
- E. わたしたちは預言する要素 (神の言葉で構成されること、神の霊による靈感、神の光の中での啓示) をもって語らなければなりません :
1. わたしたちは神の御言の知識 (学ぶという人の要素) を所有しなければなりません— II テモテ 3:16-17. エゼキエル 3:1-4。
 2. わたしたちは聖霊の即時的な靈感 (靈感という神聖な要素) を持たなければなりません— I コリント 14:32, 37 前半. I ヨハネ 1:6-7. ローマ 8:4。
 3. わたしたちは神聖な光の照らしを通して、神の権益とエコノミーに関するビジョンを持たなければなりません—エペソ 1:17. I コリント 2:11-12。
- F. こうして、わたしたちはその霊の靈感をもってわたしたちの霊を活用し、神と人を元気づける神の元気づけることによって、この命の言葉をもって見るものを語り、神の宮としての召会を建造します—使徒 5:20. 士 9:12-13。